

令和4年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立日振島小学校

1 自己評価書

教育目標	郷土に誇りと愛着を持ち、進んで未来を生き抜く力を身に付ける日振の子の育成					
基本方針	本校教育の歴史と伝統を継承し、日振島の恵まれた自然や地域のよさを知ること、誇りや愛着を持ち、自ら進んで未来社会を生き抜くための確かな力を身に付ける児童の育成を目指した学校経営を推進する。					
本年度重点目標	1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	A	A
			・具体的な対策の実施	A		
	②	授業改善	主体的な学びの実現に向けて授業改善に努めた。 (一斉教授型の授業スタイルからの脱却) ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、主体的に学びや個に応じた学びの推進に努めた。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
				・教師アンケート	A	
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
	③	家庭学習の充実	授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	A	B
				・保護者アンケート	B	
				・児童生徒アンケート	C	
	④	読書活動の充実	読書に対する関心意欲を高め、読書習慣の定着に努めた。	・教師アンケート	A	B
				・保護者アンケート	C	
				・児童生徒アンケート	B	
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	A	A
・保護者アンケート				A		
・児童生徒アンケート				B		
(成果と課題) ○これまでの基礎・基本の徹底が、標準学力調査などにも結果として表れていると思う。 ○ICT機器、タブレット端末を活用した学力調査も行われ、本校児童は県、市より高い点数であった。 ○個に応じた指導を心掛け、学習の定着状況等を見極めて授業を計画・実施できた。また、オンライン学習を積極的に行い、1学期は15回以上できた。その結果、初めは緊張したり自ら考えて発言することができなかつたりしたが、堂々と楽しそうに対話ができるようになっていく。 ●極小規模校ではあるが、一人一人のニーズが多岐にわたると感じている。それらの対応をどのように授業でコーディネートしていくかが課題と感じる。 ●複式学級の授業づくりの難しさを感じた。基礎・基本の習得を保障できる複式での授業体制を課題としていきたい。 ●児童に目が届きやすい分、苦手なことや不安なことがあると助けを借りてしまう。まずは、自分で考えて挑戦する心を持たせたい。						
(改善策等) ・児童同士の間合いをより一層重視し、対話的な学習の充実に努めることで、自ら課題と向き合い解決するための方法が身に付くようにしていきたい。 ・ICT機器、タブレット端末の活用をより一層充実させ、複式授業の中での位置付けを明確にし、基礎・基本の習得を図る。 ・小さなことから、まずは自分でチャレンジしていくようにさせる。できた時に、きちんと振り返りを行い、達成感を味わわせることを積み重ねていきたい。						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
生徒指導の*	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
	②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の間合いづくりや仲間づくりを努め、心の通う対人交流が深まってきた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 いじめの未然防止、早期発見、解決に向けて組織的に取り組むとともに、地域・保護者に対して、「学校いじめ防止基本方針」の周知に努めた。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
				・教師アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
				・保護者アンケート	A	
	③	基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で取り組んだ。	・教師アンケート	B	B
				・児童生徒アンケート	A	
				・保護者アンケート	B	

④	自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿	D	C
		自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿	C	
<p>(成果と課題)</p> <p>○本校児童全員が、一日も学校を休まず登校していることが、驚異的な数字である。今後も心身ともに健やかに成長していけるよう、学校生活の充実を図りたい。</p> <p>○生徒指導上、大きな問題もなく今学期を終えることができた。今後も、教育相談等を充実させながら未然の防止を図っていききたい。</p> <p>○教職員全員で、児童を指導・支援していくことができた。朝の会や終わりの会も全校で行ったことで、より日々の児童の様子や変化を確認することができた。</p> <p>●学校評価や総合質問紙調査等で児童の自己有用感、自己肯定感の項目が低い。</p> <p>●離島内での固定化された人間関係の中で学校生活を送っているため、多様性を求めることが難しい。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・学校生活全般を通して、「やればできる」という自信を育んでいきたい。授業では、自分で取り組めたという達成感や成就感を大切にしていきたい。また、仲間と達成できた喜びを味わうことができるような活動も取り入れていきたい。</p> <p>・教育相談をより一層充実させ、生徒指導上の問題の未然防止を図っていききたい。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A A	A
	②	働きやすい環境づくり 業務改善に向けて自校の課題を洗い出し、慣例にとらわれることなく積極的に改善に努めた。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	A
③	他の教職員のサポート体制の充実	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○校長先生が様々な提案をし、働き方改革を推進してくれた。 ○施錠や解錠を日直にかかわらず、職員全体で相互にカバーしながら管理することができた。 ○様々な面で、協力し合いながら柔軟に行うことができた。 ●職員3人、養護教諭も不在の中で、一人一人の校務分掌が多く、多岐にわたる。それにより、超過時間の減少が困難である。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・これまでと同様、前例に捉われず、省ける仕事は見直しを図っていく。それにより確保できた時間を、児童と向き合える時間にしていきたいと考える。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めるとともに、全職員の共通理解の下、学校運営協議会の活性化を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A	A
	②	情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A	A
	③	来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○総合的な学習の時間を軸に、地域の特色を生かした学習を展開することができた。具体的に、ワカメの収穫体験、ヒラメの稚魚放流、地域清掃、養殖の見学、テングサ収穫、水洗い・天日干しの体験、俵入れ見学等、多岐にわたった。これらの活動が、ふだんの関わりのおかげで、他校と比べ、大変簡単な手続きでアポイントが取れることも大きな要因となっている。 ○放課後の水泳練習の指導にも地域の方が参加して下さった。これまでの知見を生かし、泳法について、分かりやすく児童に寄り添った指導をしていただいた。 ○総合的な学習の時間や生活科の時間において、日振島ならではの学習を行うことができた。地域の方も、積極的に関わっていただけのおかげで、学校としてもお願いしやすく、よい良い授業づくりにつながっていると思う。児童もふだん気付かなかった島の良さに気付き、嬉しそうなお顔を浮かべていた。 ●今後も地域の特色を生かし、郷土を愛し、郷土に誇りを持つ児童の育成に努めていきたい。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・他校との交流も実施し、比較することで、より故郷の良さを実感させたい。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満